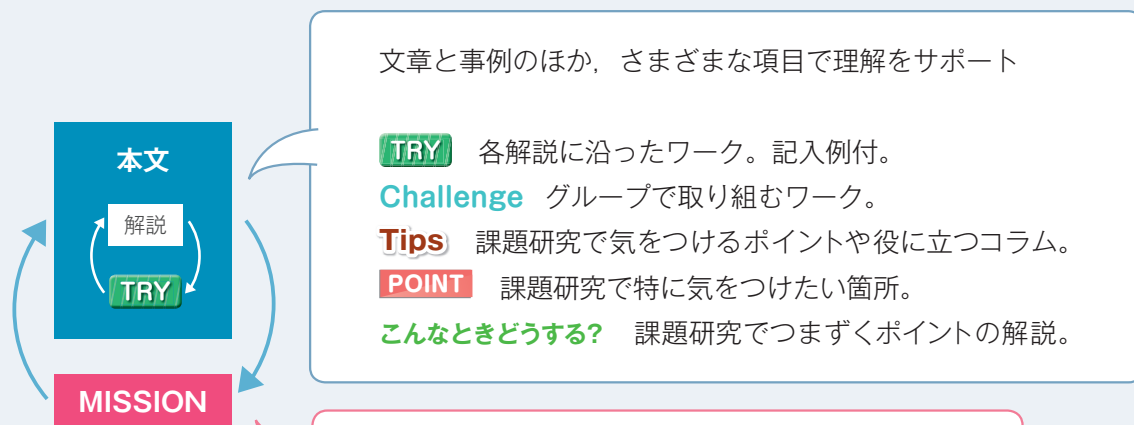


本書の構成と使い方

課題研究のステップに合わせて章を構成しています。

本文+ MISSION のサイクルをくり返しながら、課題研究を進めていくことができます。

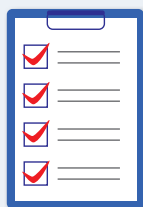


課題研究を進めるスケジュールを p.0 に書き込もう



MISSION LIST

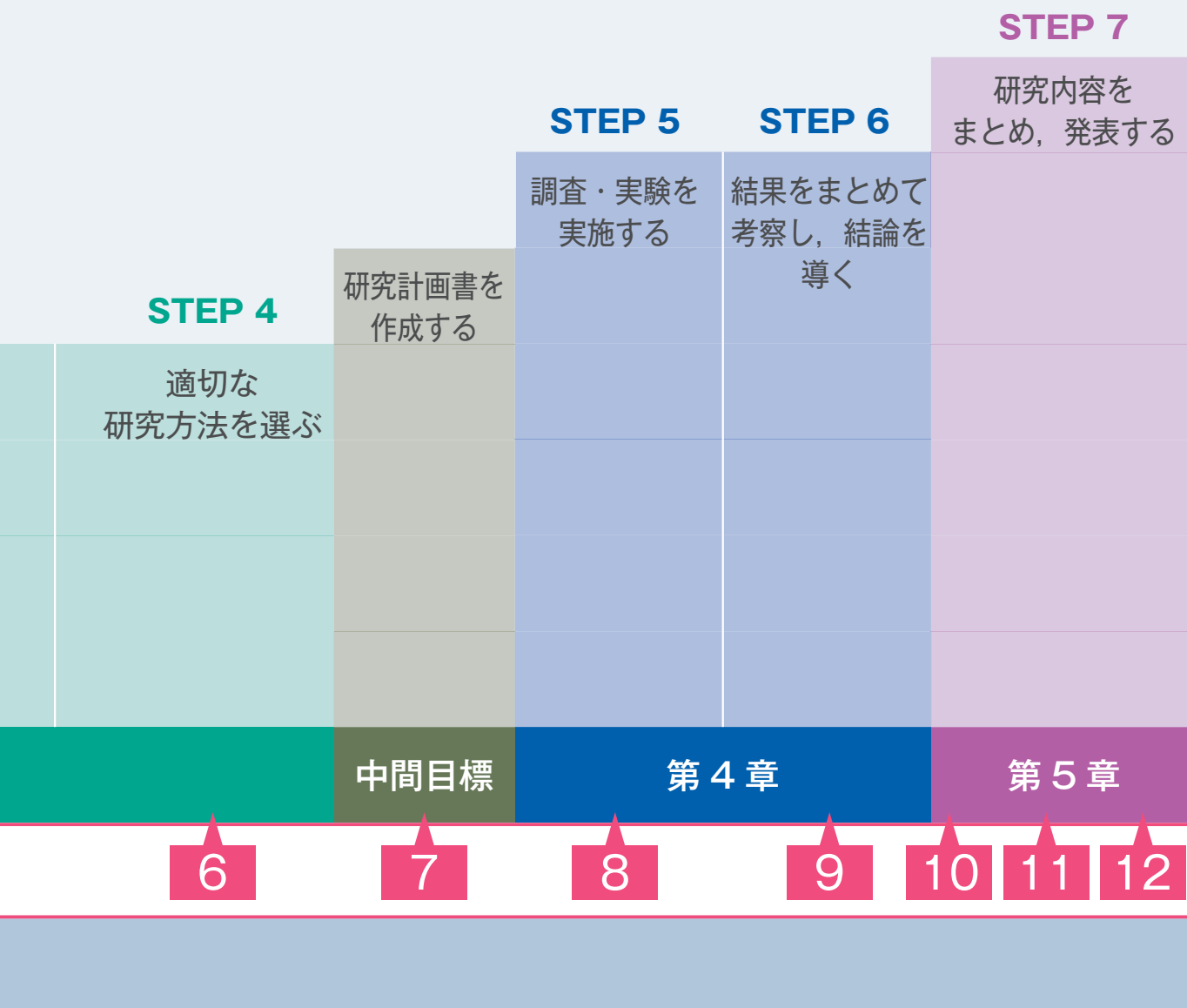
- 1 研究テーマを決めよう
- 2 リサーチクエスチョンを導こう
- 3 先行研究・事例から、現状を把握しよう
- 4 課題研究の意義を考えよう
- 5 仮説を立て、調査・実験方法を考えよう



各 MISSION は、p.190 ~ 192 のチェックリストと照らして到達度合いを確認しよう



ワークシートの記入例など、さまざまな事例を QR コードで閲覧可能



- | | |
|------------------------------|------------------------|
| 6 どの調査・実験方法を用いるかまとめよう | 10 研究要綱・論文作成の準備 |
| 7 研究計画書を作成しよう | 11 スライド発表の準備 |
| 8 調査・実験の結果をまとめよう | 12 ポスター発表の準備 |
| 9 結果から考察し、結論を導こう | |

1

研究テーマを決めよう

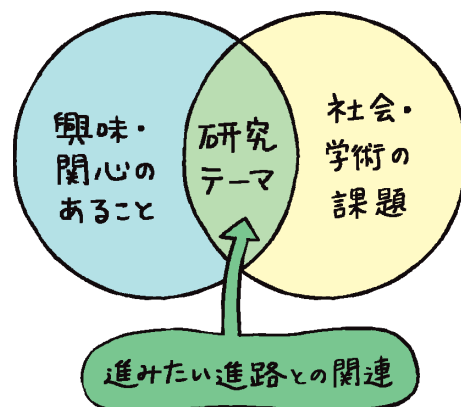
研究テーマを決めるための3つのポイント

① 研究テーマを「決める」姿勢をもとう

習い事や進路、部活動など、今まで多くの選択肢の中から自分で「決めて」きただろう。課題研究の研究テーマも同様に、「決める」という姿勢をまず持つことが不可欠だ。研究テーマは勝手に決まるものではなく、自分で決めるものであるため、自ら動こう。また、研究テーマは一度決めても、課題研究を進める中でさらに良いものが見つかった場合、期日に間に合う範囲で変えてもよい。

② 興味・関心があることからテーマを決めよう

研究テーマを決める際、最も重要なことは「**自分の興味・関心や、目指したい進路を研究テーマの中心に置くこと**」だ。興味・関心のない研究は、調べたものをまとめるだけで深みがない研究になってしまうことが多い。研究テーマを決める際、まず「自分は何に興味・関心があるのか」「将来、どのような進路を選びたいのか」「どのような役割を社会で担っていきたいのか」を考えながら、進めていこう。



③ 情報を多く集めよう

研究テーマを選ぶ過程は、進路を決める過程と似ているので、進路選択のときと同様、積極的に情報を集めよう。研究テーマを決定する際の情報は、新聞や雑誌、インターネットニュース、ドキュメンタリー番組などだけではなく、地域の人たちや講演の講師、訪れた場所に潜む歴史や自然現象、日々受けている授業からも得ることができる。さまざまな場面にきっかけや気づきが生じるので、**キーワードを記録しながら情報収集を欠かさない**ようにしよう。



1-1 キーワードを記録しよう

1 印象に残った言葉やよく目にする言葉を記録しよう

研究テーマを決める過程において、「自分の興味・関心が何か」知るためには、「**印象に残った言葉**」や「**よく目にする言葉**」を**出発点にする**とよい。たとえば、新聞やニュースなど、p.26で紹介する情報（源）に触れ、何となくでもよいので、現時点で「興味・関心のある言葉」や「将来、進みたい進路に関連する言葉」を書き留めてみよう。

TRY 興味・関心、進路に関連する言葉を書き留めよう

QR

例

興味・関心のある言葉	将来、進みたい進路に関連する言葉
イヌ、グローバル、5G	農学、ITエンジニア、社会起業家



Challenge

書き留めた言葉について、「なぜその言葉を選んだのか？」周りの友だちと意見を交換してみよう。

グループ

2 キーワードとは？

印象に残った言葉やよく目にする言葉は、自分の課題研究における「**キーワード**」となる。キーワードは研究を進める中で必要な情報を検索する際、研究内容を文章やスライドにまとめる際に用いる。研究が終わるまで常に意識しておこう。

POINT キーワードとは

- 内容を理解する際に欠かせない言葉
- くり返し使われている言葉

例

2015年にOECDが行った調査によると、日本では、貧困状態にいる0歳児から17歳までの子どもの存在および生活状況を示す子どもの貧困の割合が13.9%となっている。この課題の深刻な点は、貧困の連鎖につながることで、そして当事者の実態が見えにくく、社会の認知や理解が進まない点である。

文の意味を理解する際に欠かせない言葉	くり返し使われている言葉
OECD、貧困状態、貧困の連鎖、当事者の実態	貧困

キーワードを記録しておくと、次のようなメリットがあるよ。

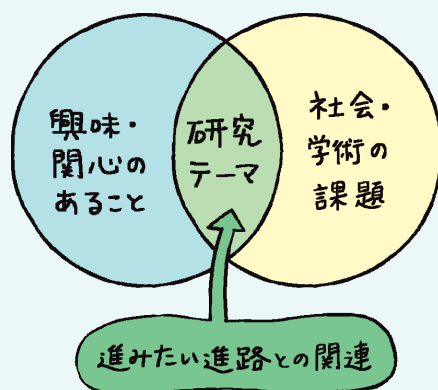
- 自分の興味・関心が明確になる
- 文章を読む、聞く、書く、話すときのポイントが明確になる





研究テーマを決めよう

これまで、身近な情報源に触れながら、キーワードを用いて自分の興味・関心を引き出してきた。さらに、社会課題や学術分野、進路について知ったことで、自分の興味・関心と社会や学術の課題の重なる部分から、取り組みたい研究テーマが見えてきただろう。ここで自分の研究テーマについてまとめてみよう。



TRY 研究テーマについてまとめてみよう。

QR

例

研究テーマ

インド農村地域における水質改善

関連するキーワード（特に重要なものを5つ程度）

インド農村地域、モリンガの種子、飲料水、河川、浄水

なぜその研究テーマを選んだか？（社会的な課題や自分自身の進路などと関連づけて）

新聞記事でクスノギの持つ防虫効果について知り、植物の機能に興味を持った。また、高校1年の教科書で紹介されていた、1人の水の活動家の話に驚き、世界の水問題にも関心がわいた。幸いにもその方と直接話す機会があり、世界には、生活用水を飲むことが原因で命を落とす方が多くいることを知った。

植物の機能に関するニュース記事を読む中で知ったのが、モリンガによる浄水効果であった。モリンガは北インド原産の植物で、その種子によって水を浄化できる。モリンガを使えば、安全でない水によって亡くなる方が多いインドの人々を救えるのではないかと考え、この研究テーマを選んだ。また、将来は化学や生物学に関連した進路を考えているので、浄水効果の原理についても学びたいと思った。



ふりかえり

候補に挙げた研究テーマは、下記のどれに当てはまるだろうか？

Case 1 興味・関心や進路選択をもとにしており、社会的な課題もしくは学術分野とも関連がある。

➡ 研究テーマの候補となる可能性が高いので、第2章に取り組もう。

Case 2 興味・関心はあるが、社会課題、学術分野のどちらとも関連が見いだせない。

➡ 社会課題、学術分野のどちらとも関連がないか、先生や有識者に相談・確認を行い、やはり関連が見いだせない場合は、もう一度、身近な情報源に触れ、興味・関心のあるキーワード選びからやり直そう。

Case 3 研究テーマに興味・関心がない。

➡ もう一度、1-1 ～ 1-4 のステップを繰り返そう。



p.190 ～のチェックリストも参照しよう